

0. 計画策定の進捗について

- 来年度の計画策定に向けて、本市の交通課題を整理するため、「1. 鯖江市をとりまく現状」や「2. 公共交通の現状と市民の移動実態分析」を調査・整理しているところ。
- 「2. 公共交通の現状と市民の移動実態分析」については、住民の交通ニーズと利用意向（パーソントリップ）把握のため、2月中旬から3月上旬まで公共交通に関する市民アンケートを実施したため、その回収状況を報告する。

1 鯖江市をとりまく現況

- 鯖江市の概況・人口特性等
- 上位関連計画

2 公共交通の現状と市民の移動実態分析

- 各公共交通のサービスレベル（運行本数・運賃等）
- 各公共交通の利用状況推移
- 公共交通利用者の評価と要望（利用者実態調査）
- 住民の交通ニーズと利用意向（パーソントリップ）

3 鯖江市の交通課題

- 鯖江市の課題
- 地域・路線別課題

4 鯖江市の交通が目指す姿と目標

- ハブ+ネットワークの将来図、基本理念
- 基本方針
- 目標指標

5 目標を達成するための事業・実施主体等

6 計画の達成状況のモニタリング指標

<今回報告>

1. 鯖江市をとりまく現況

- (1) 鯖江市の概況
- (2) 人口特性
- (3) 主要施設分布
- (4) 公共交通ネットワーク
- (5) 上位関連計画

- めがねのまちさばえビジョン2040
- 鯖江市デジタル田園都市構想総合戦略
- 鯖江市都市計画マスタープラン
- 鯖江市立地適正化計画
- 鯖江市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画（さばえ笑顔で安心プラン）
- 嶺北地域公共交通計画
- 福井県並行在来線地域公共交通計画
- 福井鉄道交通圏地域公共交通計画

2. 市民アンケート調査の報告

- (1) 市民アンケート調査実施状況

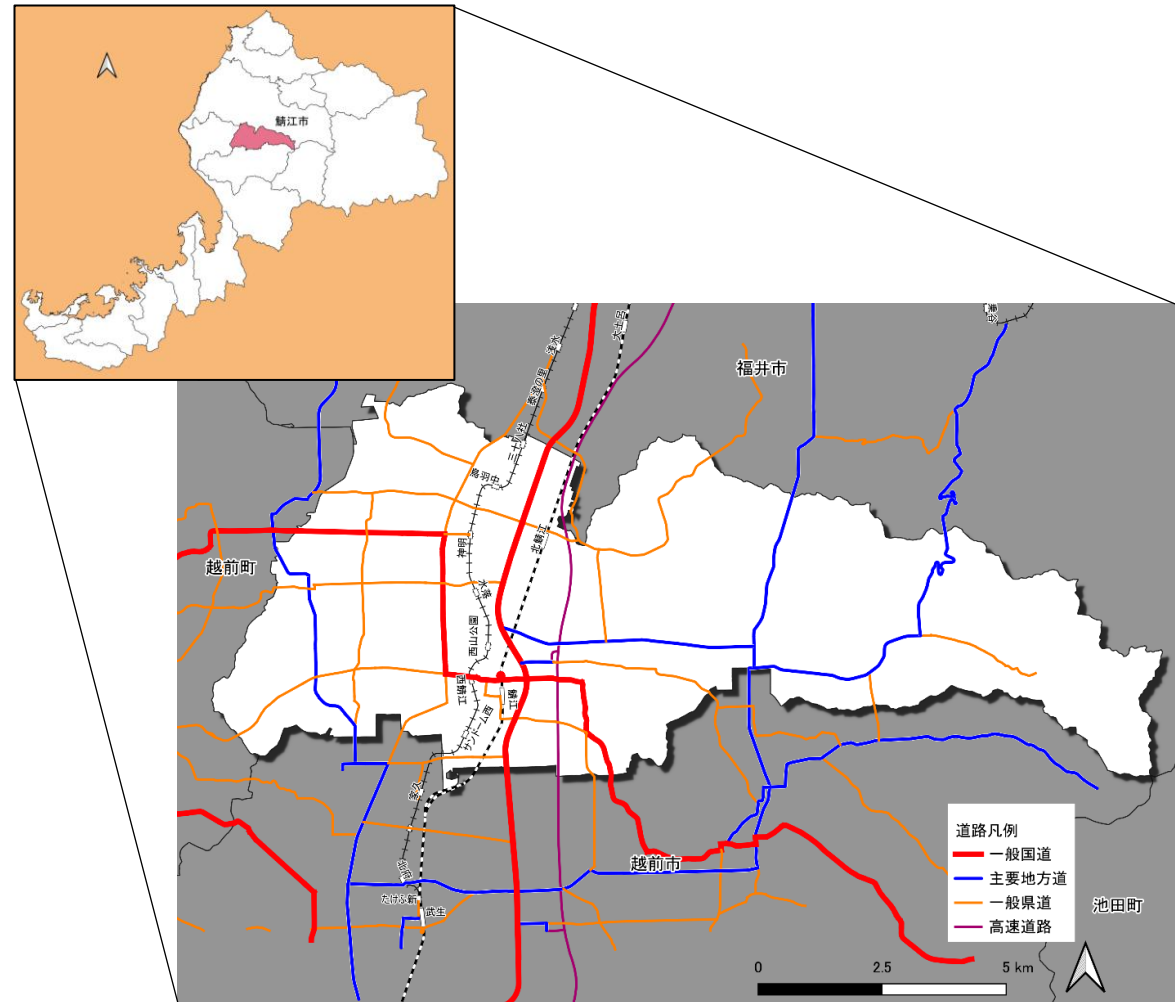
※アンケート調査結果や公共交通の利用実態などについては次回報告予定

次年度検討

(1) 鯖江市の概況

- 本市は福井県の中央に位置し、北は福井市、南は越前市と隣接しています。東西は19.2km、南北は8.3kmにわたり、面積は84.59km²です。
- 東部は三方が山地に囲まれた盆地、中央部は西山を中心とした丘陵地、西部は平野となっており、越前平野の一部を形成しています。
- 山地のふもとに集落があり、中央部の丘陵地から西は日野川、東は国道8号沿線にかけ南北に市街地を形成しています。南北に幹線が3本縦断しており、この丘陵に沿って両側に国道8号と西縦貫線、東側を北陸自動車道、ハピラインふくい、北陸新幹線が走り、また日野川が北方に向かって流れ、潤いある生活と経済活動の中心となっています。
- 交通網は、中央部を北陸自動車道（鯖江IC）や国道8号が南北方向に縦貫しており、越前町へ通じる国道417号、越前市へ通じる国道365号があります。また、中央部にはハピラインふくい（2駅）、福井鉄道福武線（6駅）が運行されています。

【位置図】

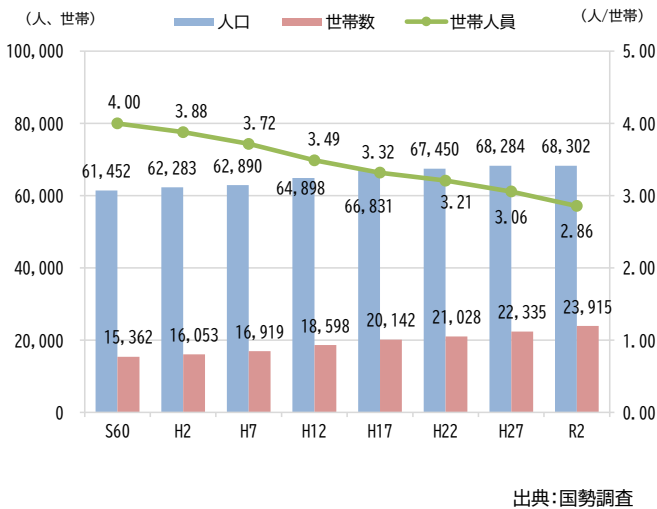


(2) 人口特性

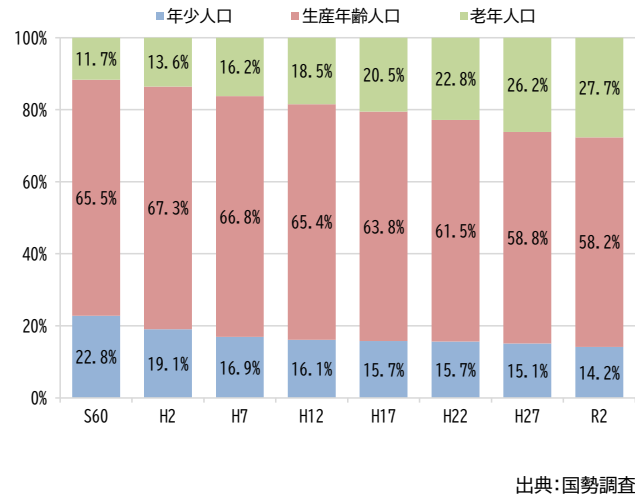
1) 人口・世帯数

- 本市の人口は、昭和60年から年々増加しており、令和2年は68,302人となっています。
- 令和2年の世帯数は23,915世帯と増加傾向ですが、1世帯当たりの世帯人員は、2.86人/世帯と減少傾向にあります。
- 令和2年の年齢3区分別人口は、年少人口（15歳未満）は14.2%、生産年齢人口（15～64歳）は58.2%、老年人口（65歳以上）は27.7%と少子高齢化が進行しています。
- 特に、令和2年の老年人口（65歳以上）は18,757人、高齢世帯数は4,358世帯と、老年人口及び高齢世帯数は大きく増加しています。

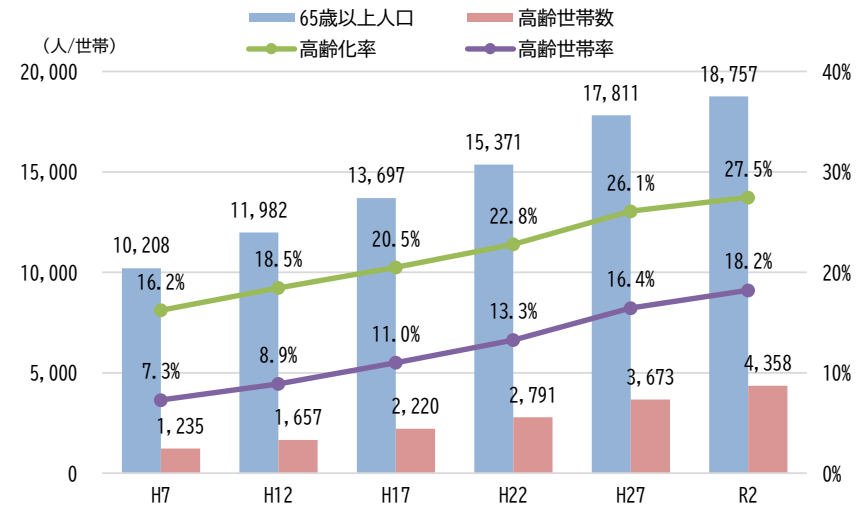
【人口・世帯の推移】



【年齢3区分別人口の推移】



【老年人口(65歳以上)及び高齢世帯数】

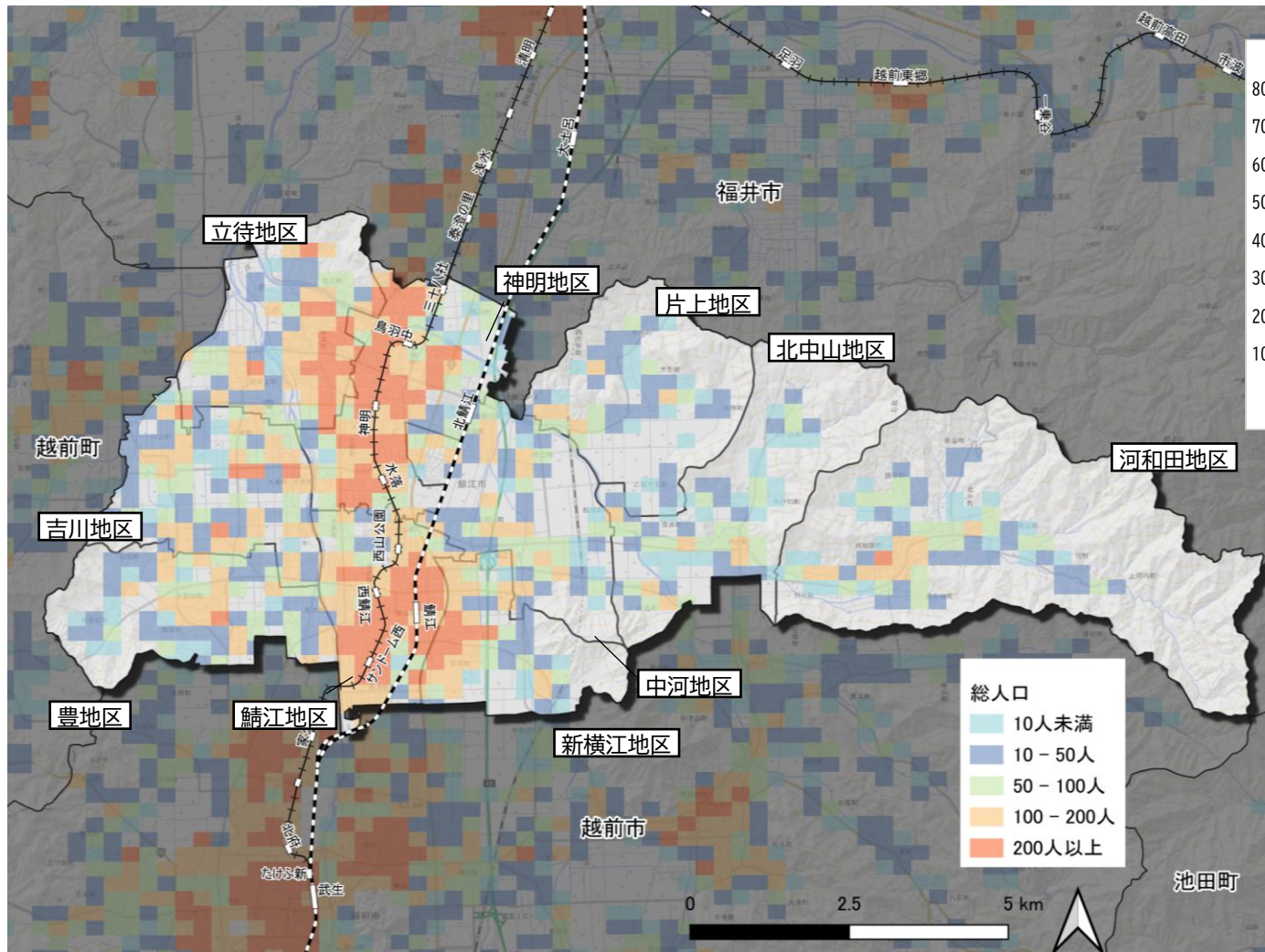


(2) 人口特性

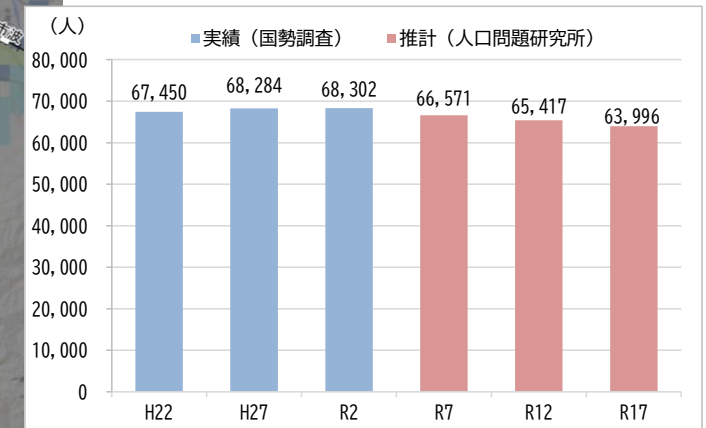
2) 人口分布

- 本市の人口は令和7年以降、減少傾向にあると予測されており、国立社会保障人口問題研究所における将来推計人口は令和17年に63,996人（令和2年比：-6.3%）と推計されています。
- 人口分布は、主に鉄道駅周辺や各地区中心部に人口が集中しています。

【鯖江市の人口分布】



【鯖江市の人口推移】



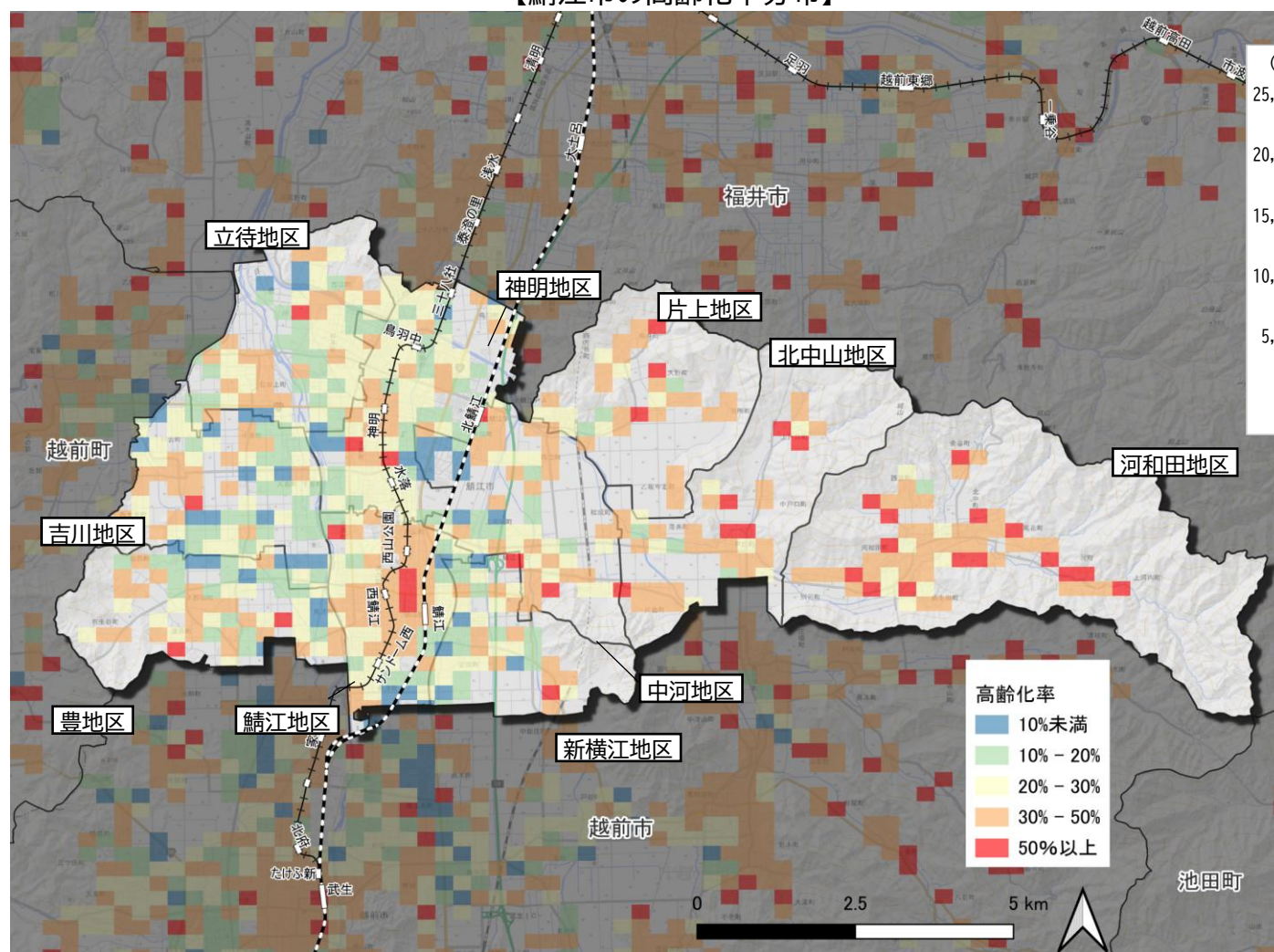
出典：国勢調査、国立社会保障人口問題研究所将来推計人口

(2) 人口特性

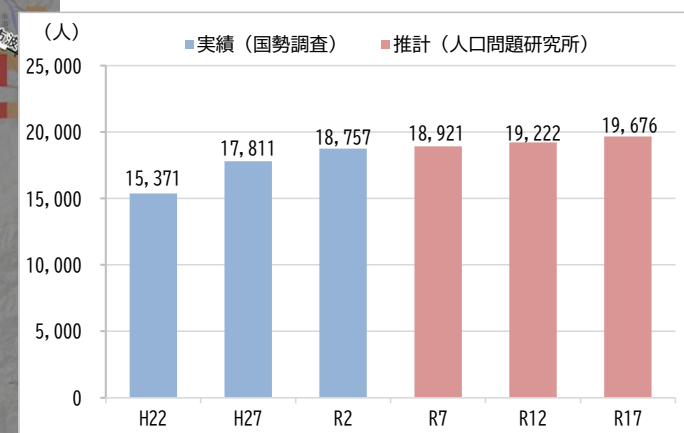
3) 老年人口（65歳以上）の分布

- 老年人口は増加傾向にあり、国立社会保障人口問題研究所における将来推計人口は令和17年に19,676人（令和2年比：+4.9%）と推計されています。
- 65歳以上の人口割合の分布は、河和田地区や北中山地区等の山間部で高齢化率50%以上を示している箇所があります。

【鯖江市の高齢化率分布】



【老年人口(65歳以上)の推移】

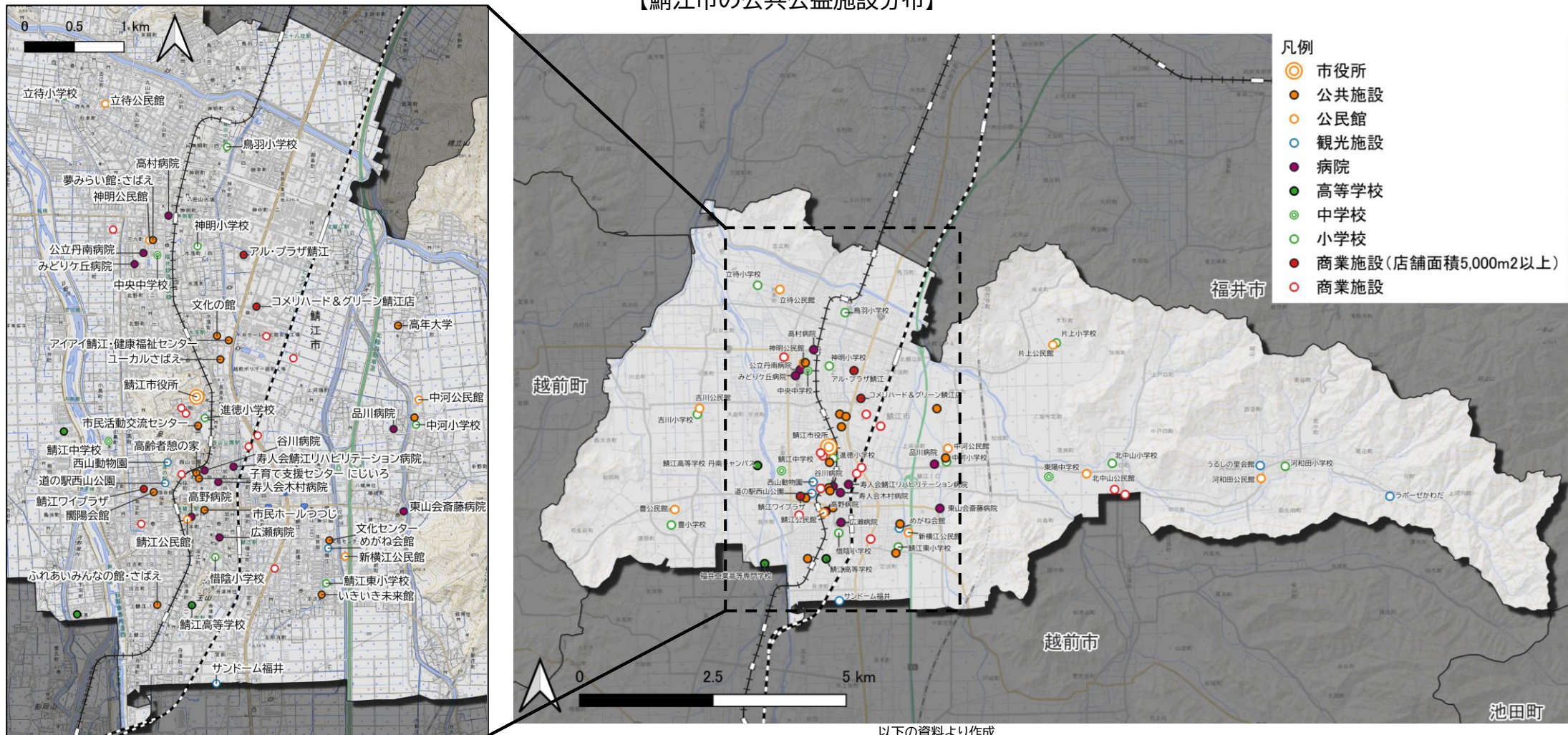


出典：国勢調査、国立社会保障人口問題研究所将来推計人口

(3) 主要施設分布

- 市役所を中心とした中心市街地エリアに、病院、主要な公共施設、商業施設等が高密度に集積しています。特に、医療施設は中心市街地に集中しており、周辺部からは公共交通によるアクセスが必要となっています。
- 郊外部については、公民館、小学校等の地区拠点施設が配置されているほか、観光施設であるうるしの里会館等が立地しています。

【鯖江市の公共公益施設分布】

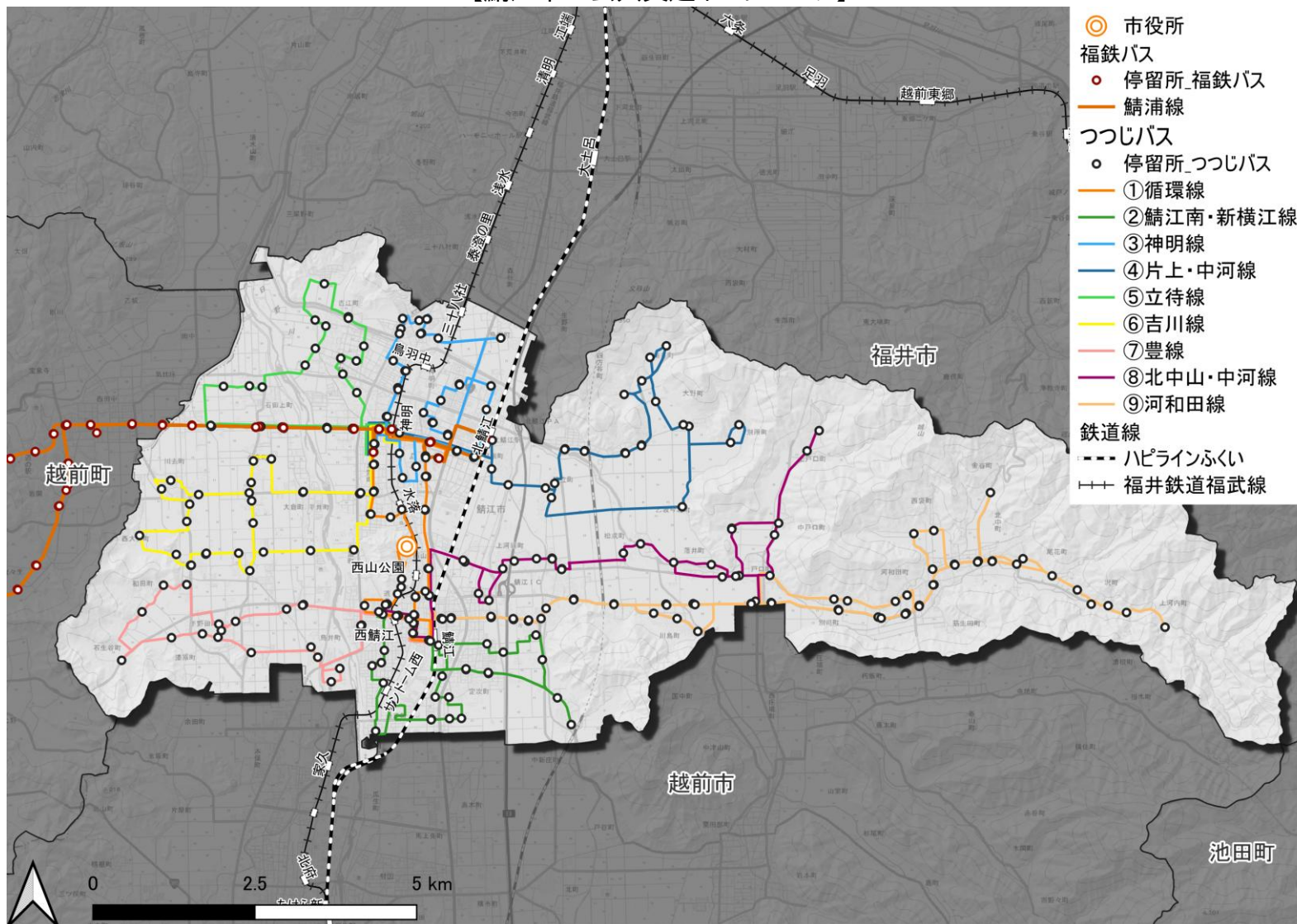


以下の資料より作成
 観光施設：福井県観光入込客数に記載のある主要観光地
 病院、教育関連施設：国土数値情報、その他施設：データシティ鯖江や国土数値情報等

(4) 公共交通ネットワーク

- 本市の公共交通ネットワークは、ハピラインふくいや福井鉄道福武線が南北の広域移動を、路線バス（福鉄バス）が越前町への移動を担い、9系統のコミュニティバス（つつじバス）が広域公共交通機関と接続し、地区内及び地区間の移動を支えています。

【鯖江市の公共交通ネットワーク】



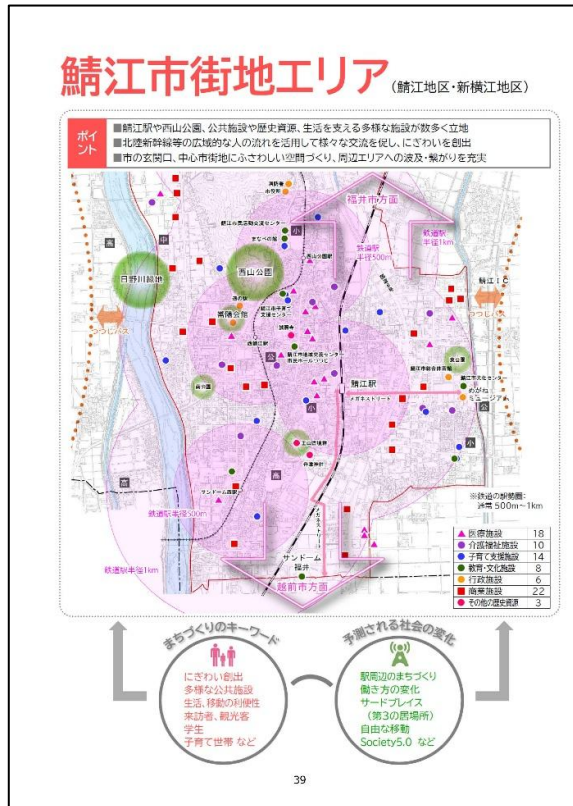
(5) 上位関連計画

1) めがねのまちさばえビジョン2040（令和6年3月）

- 「めがねのまちさばえビジョン2040」は、「鯖江市デジタル田園都市構想総合戦略」と一体的にまちづくりを推進するため、「市が考える将来のまちづくりの方向性を発信、共有」「市民と行政が同じ方向を向き、ともに歩いていくための羅針盤」「より一層、官民連携によるまちづくりの取組を促進」の3つの役割を有しています。
- 「目指す世界観」と「思いをカタチにするために大切にしたいこと」、予測される社会変化、地区の特性をそれぞれ明らかにし、同じ特徴を有する地区は一つのエリアとして、「デザイン」「ブランド」「Well-being」の3つの観点からエリアの目指すべき姿を描いています。

【地域のまちづくりビジョンの一例】

【地域公共交通に関するエリアの目指す姿(抜粋)】



エリアの目指す姿

ひと・まち × デザイン

- 様々な都市の機能が集積したアクセスしやすいまち**
 - ▶ 鉄道駅でアクセスでき、医療施設や子育て支援施設、行政施設など、様々な機能が立地する強みが活かされ、未来をリードするクリエイティブな企業が立地するなど、さらに多くの都市機能が集積しています。
 - ▶ 広域的な玄関口である鯖江駅周辺は、まちの顔として、新たな店舗や働く場が増え、空き家や空き地が住まいとして活用されるなど、多くの人が住み、働き、市民や来訪者が交わるにぎわい空間となっています。
 - ▶ 憩いの場などのサードプレイス(第3の居場所)が多くでき、子育て世帯も含めて多くの人が集まっています。
 - ▶ ICT技術が導入され、つつじバスは市民の足として多くの人に活用され、北陸新幹線越前たけふ駅を結ぶ二次交通が便利になっています。
 - ▶ 公共施設は、民間事業者との役割分担のもと、将来の人口規模に合わせた施設の維持・更新が進められています。
- にぎわいと出会いの場・機会があるまち**
 - ▶ リニューアルした西山公園や権導会館は、子どもから高齢者まで誰にとっても憩いの場となり、鯖江駅周辺にかけて、多くの人がまちなかを回遊し、市街地中心部全体がにぎわいを見せています。
 - ▶ 西山公園は、北陸新幹線等を利用した観光客も見られるなど、多くの人が様々な交通手段で来訪し、ARアトラクションが人気となっています。
 - ▶ メガネストリートの沿道はオシャレなカフェなどでにぎわい、歩いて楽しい来訪者を迎える鯖江ならではのウォーカーブルな空間となっています。
 - ▶ 文化センターや東公園などは、多くの人に利用され、市民に愛されており、シビックプライドを育む場所となっています。
- 多様なアクティビティ®が育まれるまち**
 - ▶ 西山公園や東公園、サンドーム福井、めがねミュージアムなどの資源を活かして、学生や若者、高齢者など、様々な人々による鯖江ならではの魅力的なアクティビティが行われています。
 - ▶ めがねフェスなど、ものづくり文化を活かしたイベントや、市民のウェルビーイングを高める多様な取組に、デジタル技術が上手に活用され、周辺エリアにも波及しています。

ひと・まち × ブランド

ひと・まち × Well-being

エリアの目指す姿	
鯖江市街地エリア	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道駅でアクセスでき、医療施設や子育て支援施設、行政施設など、様々な機能が立地する強みが活かされ、未来をリードするクリエイティブな企業が立地するなど、さらに多くの都市機能が集積しています。 ・ICT技術が導入され、つつじバスは市民の足として多くの人に活用され、北陸新幹線越前たけふ駅を結ぶ二次交通が便利になっています。
神明市街地エリア	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT技術が導入され、鉄道やつつじバスが便利になり、福井鉄道福武線神明駅周辺は来訪者を含めた多くの人が利用しています。
市街地西部エリア	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT技術が導入され、つつじバスは多くの人に活用されています。
市街地東部エリア 東部エリア	

(5) 上位関連計画

2) 鯖江市デジタル田園都市構想総合戦略（令和6年3月）

- 鯖江市デジタル田園都市構想総合戦略では、将来像を『世界的視野で考え、地域で行動する「めがねのまちさばえ」』と定め、「世界的視野で考え、地域で行動する」こと、多様な人々が集まり、経済、社会、環境の好循環が生まれ、停滞することなく、常に新しいものが生まれ続ける持続可能なまちを創り上げていくことを目指しています。
- 公共交通に関する方針については、「基本目標IV『住みたいまち』で、さばえる！ 安心して快適で魅力的なまちをつくる」の項目にある“豊かさや安心のある暮らしを支える交通環境”が掲げられています。

【地域公共交通に関する主な基本施策】

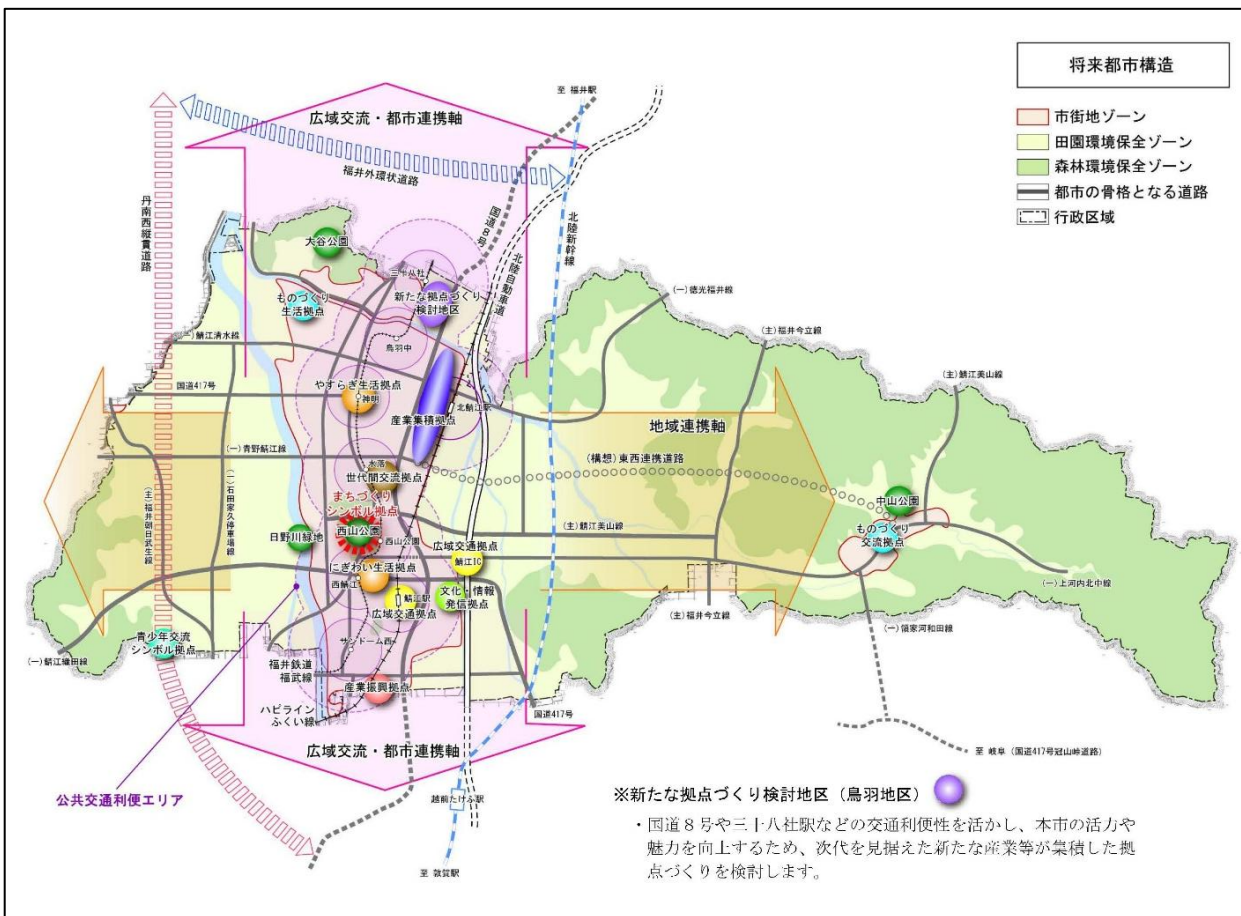
方針	基本施策
幹線交通網と二次交通網のネットワークによる地域公共交通網の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス運行事業 令和4年度に再編したつつじバスを運行するとともに利用促進のための企画切符やSNSを活用した情報発信を実施します。 ・福井鉄道福武線支援事業 第3次スキームに基づいた支援を実施し、県、沿線3市および福鉄を支援する市民団体との協働により利用促進を図ります。 ・ハピラインふくい支援事業 第3セクター会社として経営安定のための基金を拠出し、県、沿線市町との協働により利用促進を図るとともに駅利便性向上のため協力を図ります。 ・新たな交通手段導入検討事業 市民意見を聞きながら、デマンド交通など新たな交通手段の導入を研究します。 ・デジタルを活用したサービス向上事業 公共交通のサービス向上のため、複数の公共交通やそれ以外のサービス連携のため、MaaSの導入を検討します。 ・鯖江駅東口等整備事業 鯖江駅東口改札設置や駐車場等駅周辺整備を検討します。 ・福井鉄道福武線利用促進事業 市内6駅で駅周辺施設や店舗等と連携し親子連れをメインターゲットとした利用促進事業を実施します。 ・タクシーを活用した観光モデル事業 北陸新幹線停車駅ならびに鯖江駅から市内観光地への二次交通(タクシー)利用料金に対して補助を行う実証実験を行います。

(5) 上位関連計画

3) 鯖江市都市計画マスタープラン（令和6年3月改定）（1/2）

- 鯖江市都市計画マスタープランでは、将来都市像を『集い・輝き・挑戦する「めがねのまちさばえ」～選ばれるまちをめざして～』として、5つの都市づくりの目標を定めています。
- 嶺北地域全体の魅力や活力向上を目指して、周辺都市との連携を一層深め、広域的な視点からの本市の特徴や果たすべき役割を踏まえた都市構造の実現を目指しています。

【将来都市構造】



【広域的にみた本市の目指す将来都市構造の方向性】

- 北陸新幹線福井・敦賀開業に伴う特急列車に代わる快速便の運行等ハピラインふくい線の充実、越前たけふ駅などの主要な駅や拠点に接続するための二次交通網の整備等による交通利便性の維持・向上
- 広域交通を活用した周辺都市との観光拠点のネットワーク化
- 平時の交通渋滞の緩和、自然災害に備えた代替性や多重性を有する広域交通ネットワークの形成
- 広域幹線道路や公共交通を活かした嶺北地域の魅力や活力を高めるための拠点の創出
- 周辺都市の産業拠点との連携による地場産業の振興
- 公立丹南病院を核とした広域医療体制の強化・充実

(5) 上位関連計画

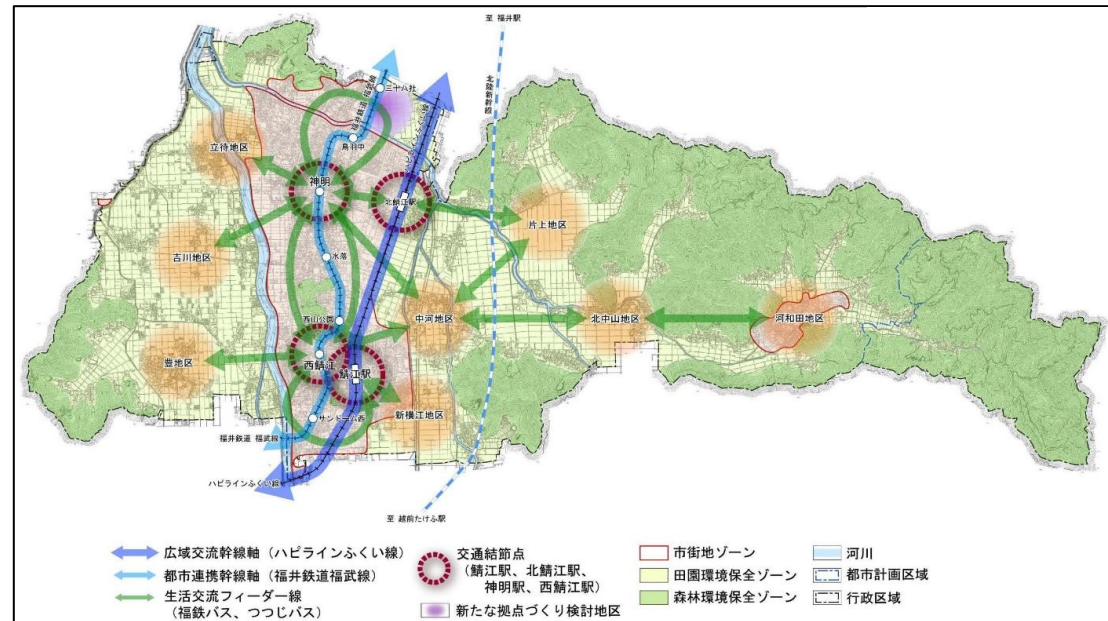
3) 鯖江市都市計画マスタープラン（令和6年3月改定）（2/2）

- 「交通ネットワークの整備方針」では、鉄道駅や公共施設、観光・交流施設等へのアクセス性を高めるため、鉄道やタクシーとの連携やバスを活用した二次交通網の充実やICTを活用した交通サービス整備を進めています。
- 「交通体系の整備方針」では、公共交通機関相互の連携を推進することで、自動車との連携を推進し、安心して日常生活が過ごせる公共交通ネットワークの確立を目指しています。

【公共交通ネットワークの整備方針(抜粋)】

【公共交通ネットワーク方針図】

基本方針	内容
鉄道を中心とする南北方向の公共交通サービスの維持・向上	<ul style="list-style-type: none"> これらの鉄道による公共交通の高い利便性をまちづくりの基本とし、積極的に公共交通の利用を促進することで、現在のサービス水準を維持するとともに、今後の利用動向を踏まえサービス水準の向上を図ります。
バスによる東西方向の公共交通サービスの維持・向上	<ul style="list-style-type: none"> 「つつじバス」および福鉄バスを生活交通フィーダー線として位置づけ、市街地への連絡や鉄道による広域交流幹線軸、都市連携幹線軸に接続します。バス停の待合環境の整備、バス路線再編による利便性や速達性の向上、運行経路や運行時刻などの情報提供等の交通環境の整備により、積極的な利用促進を図り、現在のサービス水準を維持するとともに、今後の利用動向を踏まえ、デマンド方式の導入も検討しながら、サービス水準の向上を図ります。 また、北陸新幹線福井・敦賀開業に伴う新たな関係人口・交流人口増加を見込み、鉄道駅や公共施設、生活に必要なサービス施設、西山公園やラポーゼかわだなどの観光・交流施設へのアクセス性を高めるため、鉄道やタクシーとの連携やバスを活用した二次交通網の充実を図るとともに、ICTを活用した交通サービスの整備を進めます。



【交通体系の整備方針(抜粋)】

基本方針	内容
①県外との広域交流や県内の地域連携を促す交通ネットワークの充実	<ul style="list-style-type: none"> 越前たけふ駅や主要施設へのアクセス性を高めるため、バス等を活用した二次交通網の確保や充実に向けて取り組みます。 東西方向の地域連携を支える交通ネットワークは、関係機関と連携を図りながら維持します。
②市民が安心して日常生活を過ごせる公共交通ネットワークの確立	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通を積極的に利用してもらうことで、サービス水準の維持・向上を図るとともに、公共交通機関相互の連携を推進することで、自動車との連携を推進し、安心して日常生活が過ごせる公共交通ネットワークの確立を図ります。 市民の皆さんにとって利便性が高い公共交通にするため、公共交通サービスの運行に必要な費用や市民の皆さんの負担額などの情報を公開するとともに、市民の皆さんの意向把握や参画の場を設けます。
③地域の宝を活かした交流、連携を支える交通環境の構築	<ul style="list-style-type: none"> 本市には、西山公園をはじめとする観光資源や眼鏡、繊維、漆器に代表されるものづくりなど豊富な地域の宝があります。また、広域的な集客施設であるサンドーム福井が位置しています。これらの地域の宝を活かした交流、連携を支える交通環境の構築を図ります。 特に、西山公園やサンドーム福井は、つつじまつりやコンサート等のイベント時に大勢の人が集中することから、これらの施設と主要な駅やICを結ぶ区間において、快適な歩行空間やICTを活用した交通サービスの整備を検討するなど、広域的な観光交通への対応を図ります。

(5) 上位関連計画

4) 鯖江市立地適正化計画（平成29年3月）

- 鯖江市立地適正化計画は、立地適正化計画と両輪をなす鯖江市都市計画マスタープランと整合を図りつつ、立地適正化計画が目指す意味を加味して、「豊かな生活を支える安心して住み続けるふるさと鯖江」の理念のもと、3つの基本方針を設定しています。

【地域公共交通に関する主な基本方針(抜粋)】

施策内容
<ul style="list-style-type: none">■基本方針1 安心して住み続ける歩いて暮らすまちづくり<ul style="list-style-type: none">・既存の鉄道やコミュニティバス等による公共交通のストックを活用するとともに、空き家・空き地を活用して、公共交通の利便性の高い地区への居住を推進することで、過度に自動車に依存することなく、すべての市民が安心して住み続けることのできる生活環境を確保します。・また、行政、医療、福祉、文化、商業などの既存の都市機能の維持・機能向上を図るとともに、公共交通の利便性の高い地区への機能の集約化を図ることで、市民の暮らしやすさを高めます。・駅を中心として歩いて暮らすまちづくりによって、今の鯖江市を見つめながら、次代に継承するまちづくりを進めます。■基本方針2 地域の宝を活かした交流・連携によるにぎわいのあるまちづくり<ul style="list-style-type: none">・つつじまつりに象徴される西山公園をはじめとする観光資源や、眼鏡、繊維、漆器に代表されるものづくりなど、鯖江市が有する豊富な資源を地域の宝として交流・連携に活かし、公共交通網を基軸とした全市的な地域間のネットワークを強化することで、都市の活力を高め、地域のにぎわいづくりを目指します。

5) 鯖江市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画（令和6年3月）

- 鯖江市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画は、基本理念である「人と人がつながり、安心して暮らせるまちさばえ」の考え方をもとに、6つの基本目標を掲げ、各施策・事業を掲げています。

【公共交通に関する施策(抜粋)】

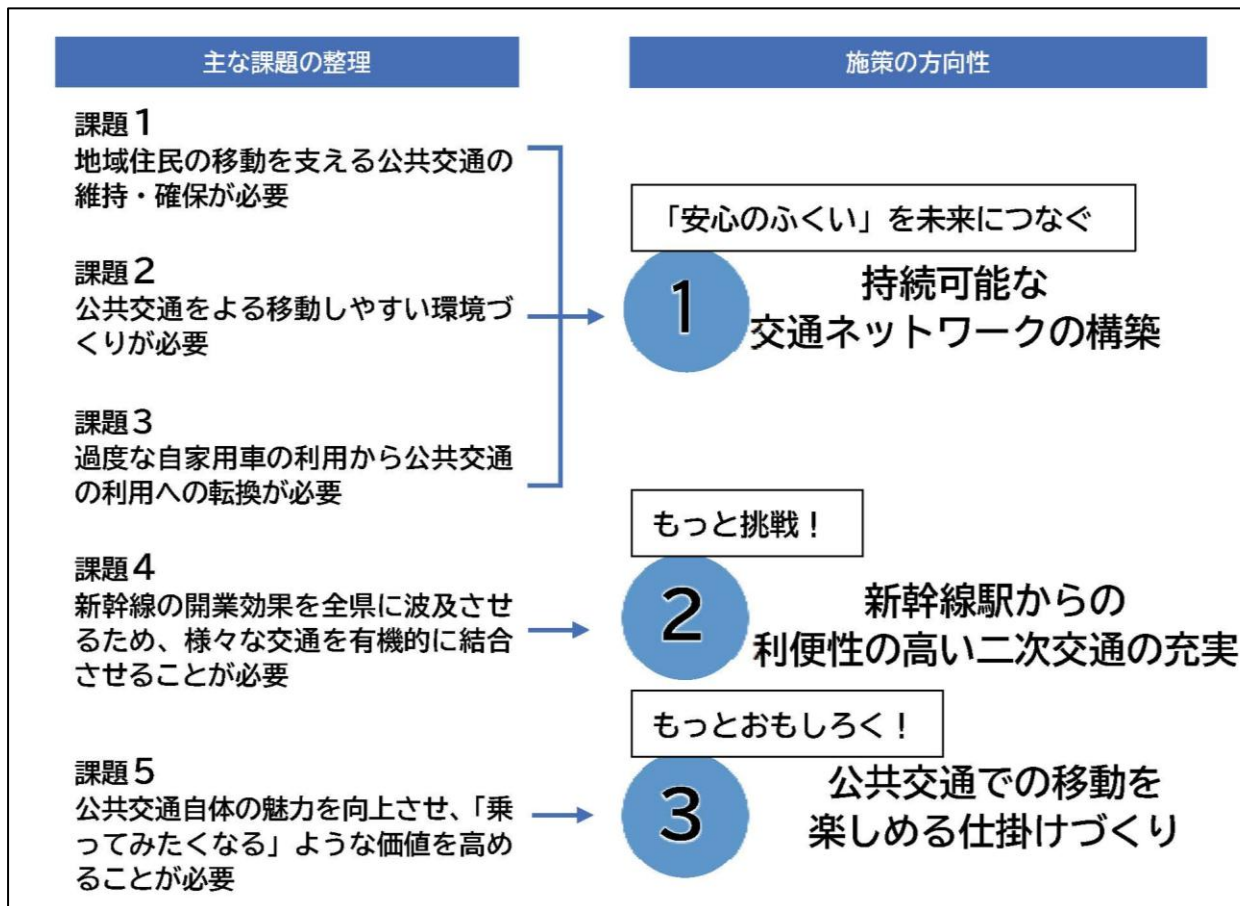
基本目標5 高齢者が安心して暮らせる環境づくり
<ul style="list-style-type: none">①外出しやすい環境づくり<ul style="list-style-type: none">・在宅要介護高齢者が医療機関等に通うために利用するタクシー費用の一部を助成します。・高齢者が安心してコミュニティバス「つつじバス」の利用ができるよう、利便性向上に努めるとともに、運転免許証自主返納者に対し無料証を交付し、車に代わる移動手段を提供することで、外出支援を推進します。

(5) 上位関連計画

6) 嶺北地域公共交通計画（令和6年10月改定）

- 嶺北地域公共交通計画では、福井県長期ビジョンの基本理念である「「安心のふくいを未来につなぎ、もっと挑戦！もっとおもしろく！」に沿い、3つの施策の方向性と地域の実情を踏まえた各種施策を展開し、地域住民の暮らしや交流を支え、育む持続可能な公共交通の実現を目指しています。

【公共交通に関する施策の方向性(抜粋)】



(5) 上位関連計画

7) 福井県並行在来線地域公共交通計画（令和6年12月改定）

- 福井県並行在来線地域公共交通計画は、福井県内の並行在来線が地域に不可欠な公共交通として持続可能性を高めるための取組を、地方公共団体、公共交通事業者、民間企業、県民・利用者など関係者が一体となって推進することを目的に策定されました。
- 並行在来線の運営方針として、「輸送の安全・安定の確保」「地域振興と県民の生活環境の向上」「長期にわたり安定した経営の維持」「鉄道駅を中心としたコンパクトシティ形成など持続可能なまちづくりへの協力」を掲げています。
- 北陸新幹線福井・敦賀の開業により期待される来県者の利用を確実に取り込むほか、利便性の向上等により県民等の日常的な利用の増加を図り、並行在来線の持続可能性を高めることを目標としています。

【施策と取組内容(抜粋)】

施策	取組内容
施策1 利便性の向上	(1)誰もが利用しやすいダイヤの編成 (2)観光・イベント連射の運行 (3)誰もが利用しやすい環境づくり、駅サービスの向上 (4)駅へのアクセス向上等 (5)新駅の設置
施策2 駅を中心としたまちづくり	(1)駅を中心に都市機能の集約や居住誘導 (2)既存駅のモデルチェンジ (3)駅・駅周辺のにぎわいづくり
施策3 地域鉄道など他の交通事業者との連携	(1)地域鉄道等との連携 (2)交通事業者等との連携
施策4 地域に親しまれる鉄道への転換	(1)会社名の公募 (2)県民の参画 (3)マイルール意識の醸成 (4)サポーターズクラブの設立

(6) 本市における交通の現況

【人口特性】

- 鉄道駅周辺や各地区中心部に人口が集中しており、郊外部を中心に少子高齢化が進行している。

【主要施設分布】

- 市役所を中心とした中心市街地に、公共施設・医療施設・商業施設が高密度に集積している。特に、医療施設は中心市街地への集中が顕著であり、郊外・周辺部からのアクセスを公共交通が担う必要がある。

【公共交通ネットワーク】

- ハピラインふくいや福井鉄道福武線が南北の広域移動を、路線バス（福鉄バス）が越前町への移動を担い、9系統のコミュニティバス（つつじバス）が広域公共交通機関と接続し、地区内及び地区間の移動を支えている。

【上位関連計画】

- 北陸新幹線越前たけ心駅や主要施設へのアクセス性を高めるため、鉄道やタクシーとの連携やバスを活用した二次交通網の充実を図るとともに、ICTを活用した交通サービスの整備を進めている。
- 公共交通の利用を促進することでサービス水準の維持・向上を図るとともに、公共交通機関相互及び自動車との連携を推進し、安心して日常生活が過ごせる公共交通ネットワークの確立を目指している。

(1) 市民アンケート調査実施状況

- ・ 鯖江市在住の18歳以上の市民を対象とし、2,000世帯を抽出、各世帯に調査票を3通ずつ配布した。
- ・ 回収率向上のため、WEBによる回答も可能とするため、依頼文に二次元コードを記載。
- ・ 令和8年2月13日に発送し、約2週間（3月4日〆切）の期間を設けて実施。
- ・ 3月5日（木）時点で、紙：428通、WEB：214件の回答をいただいた（全体回収率24.8%）。

鯖江市の公共交通に関する市民アンケート

～みなさまのご意見を反映するため、アンケートにご協力ください～

令和8年2月 鯖江市地域公共交通活性化協議会
(鯖江市産業交流部交通・にぎわい創出課)

鯖江市では、皆様の移動を支えるため「鉄道（ハピラインふくい線、福井鉄道福武線）」「路線バス（福鉄バス）」「コミュニティバス（つつじバス）」等の公共交通が運行されています。これらの公共交通は、健康や福祉、観光、環境など、まちづくりにおける様々な分野で重要な役割を担っており、私達の暮らしに欠かせない社会基盤となっています。

今回、皆様の日常生活の移動手段や公共交通に対するご意見をいただき、今後の持続可能な公共交通のあり方などを検討するため、鯖江市にお住まいの**15歳以上の方を対象としたアンケートを実施**いたします。

アンケートは無記名で、すべて統計的に処理されますので、個人としてのご意見やお考えが外部に漏れたりすることは一切ありません。

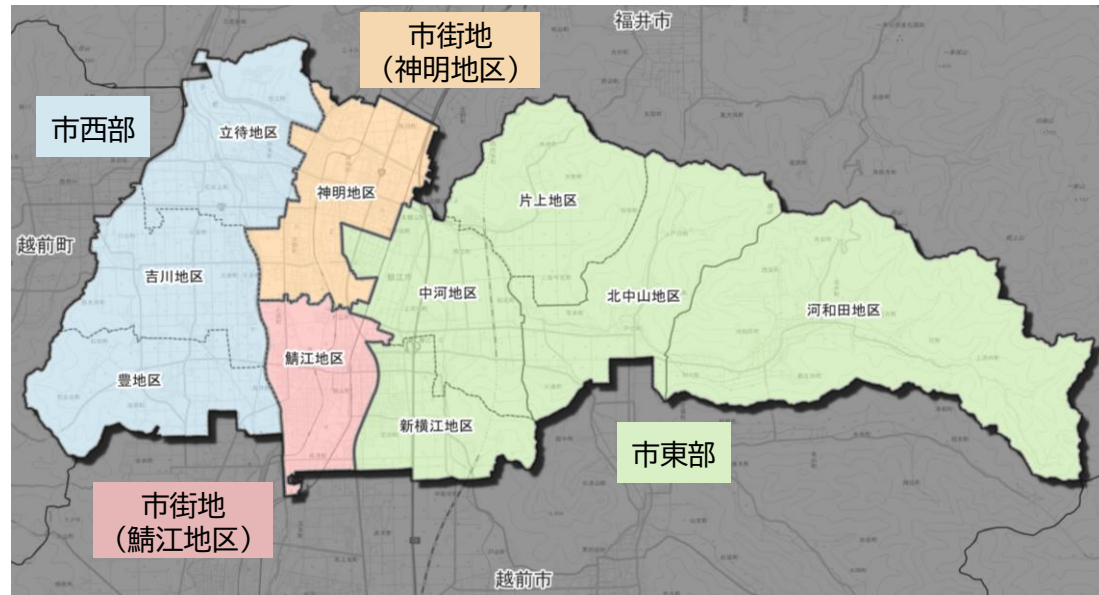
調査の趣旨をご理解いただき、率直なご意見やお考えをお聞かせください。

【アンケートのご記入方法について】

1. 回答用紙は**個人調査票3枚が同封**されています。ご家族の中で調査にご協力いただける**15歳以上の方（最大3名）**がそれぞれご回答ください。
2. 回答方法は、該当する番号を〇で囲んでください。質問ごとに「**1つだけ**」**「2つまで**」**「内容を直接記入する**」など、回答方法が指定されていますのでご注意ください。
3. 回答後は、同封の返信用封筒に入れ、**令和8年3月4日（水）までに郵便ポストに投函（切手は不要）**してください。
4. **WEBによる回答も可能**となっております。下記の**二次元コードをスマートフォンなどで読み取り、回答してください**。なお、WEBで回答された場合は、調査票の返信は不要です。

WEBによる回答も可能となっております。
右記の二次元コードをスマートフォンなどで読み取り、回答してください。
WEBで回答された場合は、調査票の返信は不要です。

【お問い合わせ】
鯖江市地域公共交通活性化協議会（鯖江市産業交流部交通・にぎわい創出課）
所在地：〒916-8666 福井県鯖江市西山町13番1号
TEL：0778-53-2243 Email：KoNigi@city.sabae.lg.jp
※本アンケート調査は、鯖江市から株式会社日本海コンサルタントに調査を委託し実施しています。



		①総人口	②人口比	③配布世帯数 (2,000×②)		④配布数 (③×3)	
市西部	吉川	6,921	10.2%	203	629	609	1,887
	豊	4,547	6.7%	134		402	
	立待	9,939	14.6%	292		876	
市街地 (神明地区)	神明	15,741	23.1%	463	463	1,389	1,389
市街地 (鯖江地区)	鯖江	13,023	19.1%	383	383	1,149	1,149
市東部	河和田	3,606	5.3%	106	525	318	1,575
	新横江	5,268	7.7%	155		465	
	中河	4,623	6.8%	136		408	
	片上	1,838	2.7%	54		162	
	北中山	2,531	3.7%	74		222	
計		68,037	100%	2,000	2,000	6,000	6,000

紙（封筒）	281部
WEB	214件
合計	495件
回収率	24.8%

鯖江市地域公共交通活性化協議会

計画策定に向けた調査等

令和7年度

令和7年度 第4回 (令和7年12月25日)

- 計画の概要
- アンケート (案) について
- スケジュール

令和7年度 第5回 (令和8年3月13日)

- 計画策定の進捗について (現況整理等の報告)

令和8年度

令和8年度 第1回 (令和8年6月頃)

- アンケート調査結果等の報告
- 課題の整理
- 計画素案について

令和8年度 第2回 (令和8年9月頃)

- 計画案について

令和8年度 第3回 (令和8年12月頃)

- パブリックコメントの報告
- 計画認定申請の合意

現況把握・上位関連計画の整理 (令和8年1～3月頃)
市民意向アンケート調査 (令和8年2月中旬～3月上旬)

利用者実態調査 (令和8年4月頃)
高校生アンケート調査 (令和8年4月頃)
計画素案の作成 (令和8年4月～6月頃)

計画案の作成 (令和8年6月～9月頃)

パブリックコメント (令和8年10月頃)

地域公共交通計画等の策定 (令和9年1月)

4. 高校生アンケートについて

- ・ 鯖江市に住む高校生の移動実態を把握するとともに、公共交通の改善に向けた意見を把握するため、市内の高校1年生～高校3年生1,000人を対象とした無作為抽出による「公共交通に関する高校生アンケート調査」を実施する。
- ・ 調査実施方法は、ハガキを配布し、WEBによる回答を想定。設問は極力シンプルなもの（所要時間5分程度）とし、回収率の向上を図る。

【高校生アンケート依頼ハガキ】

公共交通に関する高校生アンケート調査
～みなさまのご意見を反映するため、アンケートにご協力ください～
鯖江市地域公共交通活性化協議会

今回、鯖江市在住の高校生の皆様から日常生活の移動手段や公共交通に対するご意見をいただき、今後の持続可能な公共交通のあり方などを検討するため、簡単なアンケートを実施いたします。（所要時間：5分程度）

アンケートは無記名で、すべて統計的に処理されますので、個人としてのご意見やお考えが外部に漏れたりすることは一切ありません。

アンケートの趣旨をご理解いただき、率直なご意見やお考えをお聞かせください。

ご回答方法

●月●日(●)までに、スマートフォン等から右記の二次元コードを読み取りご回答下さい。

二次元コード
印刷スペース

【お問い合わせ先】

鯖江市地域公共交通活性化協議会
(鯖江市産業交流部交通・にぎわい創出課)
所在地：〒916-8666 福井県鯖江市西山町13番1号
TEL：0778-53-2243
E-MAIL：KoNigi@city.sabae.lg.jp

【抽出条件】

生年月日：2008年4月2日～2011年4月1日
(令和8年度高校1年生～3年生年齢)

対象住所：鯖江市内

地区割：なし

抽出人数：1,000人

基準日：R8.3.1

【調査項目(案)】

大項目	設問
I. あなたご自身について	問1. 属性（学校名、学年、郵便番号）
II. 日常生活上の移動について	問2. 登下校の時間帯
	問3. 登校の交通手段
	問4. 下校の交通手段
	問5. 登下校に利用している駅や停留所名
	問6. 登下校時に不便に感じていること
	問7. バスについて改善が必要と思われること
	問8. その他自由意見

公共交通に関する高校生アンケート

～みなさまのご意見を反映するため、アンケートにご協力ください～

鯖江市地域公共交通活性化協議会

今回、鯖江市在住の高校生の皆様から日常生活の移動手段や公共交通に対するご意見をいただき、今後の持続可能な公共交通のあり方などを検討するため、**簡単なアンケートを実施**いたします。(所要時間：5分程度)

アンケートは無記名で、すべて統計的に処理されますので、個人としてのご意見やお考えが外部に漏れたりすることは一切ありません。

アンケートの趣旨をご理解いただき、率直なご意見やお考えをお聞かせください。

ご回答方法

●月●日(●)までに、スマートフォン等から右記の二次元コードを読み取りご回答下さい。

二次元コード

印刷スペース

【お問い合わせ先】

鯖江市地域公共交通活性化協議会

(鯖江市産業交流部交通・にぎわい創出課)

所在地：〒916-8666 福井県鯖江市西山町13番1号

TEL：0778-53-2243

E-MAIL：KoNigi@city.sabae.lg.jp

I. あなたご自身について

問1. 次の(ア)～(ウ)の各項目についてご記入ください。

(ア) 学校名	(_____)
(イ) 学年	1. 1年生 2. 2年生 3. 3年生
(ウ) お住まいの郵便番号	郵便番号 〒 (_____) - (_____) ※郵便番号がわからない方は町名(番地は不要)を記入ください。 (福井県 鯖江市 _____) (例) 鯖江市西山町

II. 日常生活上の移動について

問2. 学校への登下校の時間帯を教えてください。

1) 登校：学校に到着する時間(一番頻度の多いおおよその時刻)	(____時 ____分) 頃
2) 下校：学校を出発する時間(一番頻度の多いおおよその時刻)	(____時 ____分) 頃

問3. 学校への登校にどのような交通手段を利用していますか。(あてはまるもの全てに○)

1. ハピラインふくい線	2. 福井鉄道福武線	3. 路線バス
4. スクールバス	5. 各市町が運行するバス(コミュニティバスなど)	
6. 予約型交通(デマンドタクシーなど)	7. タクシー	
8. 家族等による送迎	9. 自転車	10. 原付・バイク
11. 徒歩のみ	12. その他(_____)	

問4. 学校からの下校にどのような交通手段を利用していますか。(あてはまるもの全てに○)

1. ハピラインふくい線	2. 福井鉄道福武線	3. 路線バス
4. スクールバス	5. 各市町が運行するバス(コミュニティバスなど)	
6. 予約型交通(デマンドタクシーなど)	7. タクシー	
8. 家族等による送迎	9. 自転車	10. 原付・バイク
11. 徒歩のみ	12. その他(_____)	

問5. 問3・4で選択肢1～5のいずれかを選択された方は、登下校に利用している駅や停留所を教えてください。

	自宅側(駅・バス停名)	通学先側(駅・バス停名)
鉄道	(_____) 駅	～ (_____) 駅
バス・予約型交通	(_____) バス停	～ (_____) バス停

問6. 登下校の際、不便と感じていることはありますか。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|--------------------------------------|------------------------|
| 1. 登校時に利用できる公共交通がない | 2. 下校時に利用できる公共交通がない |
| 3. 家族の送迎がないと登下校できない | 4. 送迎で家族に負担がかかり気が引ける |
| 5. 朝早くに自宅を出る必要がある | 6. 最寄り駅・バス停等までが遠い |
| 7. 駅周辺に駐輪場がない/不足している | 8. 鉄道やバスが混雑している |
| 9. 公共交通機関同士の乗り継ぎが不便 | |
| 10. 駅周辺における送迎時の自動車の乗降環境が悪い(ロータリー整備等) | |
| 11. 歩行環境が悪い(歩道がない、屋根がない等) | |
| 12. 天候が悪い日の移動手段がない | 13. 夜道や人通りの少ない道を通るのが怖い |
| 14. 部活動等を早く切り上げて下校しなければならない | |
| 15. 特にない | |
| 16. その他(_____) | |

問7. 鯖江市内を通るバス(コミュニティバス、福鉄バス)について、改善が必要と思われる事項を教えてください(3つまで○)。

- | | |
|-------------------------------------|----------------------|
| 1. 自宅または高校近くへのバス停・バス路線等の設置 | 2. 鉄道・バスの乗り換え時間の短縮 |
| 3. 登校時間に合う便の運行 | 4. 下校時間に合う便の運行 |
| 5. 朝・夕の混雑緩和 | 6. スマホなどでの遅延・運行情報の提供 |
| 7. キャッシュレス決済への対応 | 8. 時間の正確さ |
| 9. バス車両のバリアフリー対応 | |
| 10. 冊子形式での時刻表・路線図などのわかりやすい情報提供 | |
| 11. インターネットを通じた時刻表・路線図などのわかりやすい情報提供 | |
| 12. バス停や待合環境(待合室、ベンチ、Wi-Fi等)等の整備 | |
| 13. その他(_____) | |

問8. その他、ご自身の登下校に対するご意見・ご感想がございましたら、ご自由にお書きください。

質問は、以上で終わりです。
ご回答いただき、ありがとうございました。